



デジタル技術の活用を進める企業等を訪問し、レポート  
します！その悩み、デジタル技術で解決できるかも！？



# ネット上のお店の看板! 集客に欠かせない Googleビジネスプロフィール

福井商工会議所

**こちら デジタル活用  
ビジネス支援センター**

ジャイロ総合コンサルティング様

うにがめ みほ  
雲丹亀 真穂 さん

7月11日に、「デジタル販促ツール活用セミナーGoogleビジネスプロフィール(GBP)編」を開催しました。GBPはGoogleが無料で提供する情報管理サービスで、店舗・施設等の営業時間や電話番号などがGoogleでの検索時に表示されます。集客ツールとして効果的なGBPですが、一方で第三者によって誤った情報が掲載されることもあり、放置しておくと思わぬ機会損失を生む可能性があります。今回は講師を務めた雲丹亀真穂さんから、GBP活用のポイント等について伺いました。

「待ち」ではなく  
顧客に発信してもらう時代に

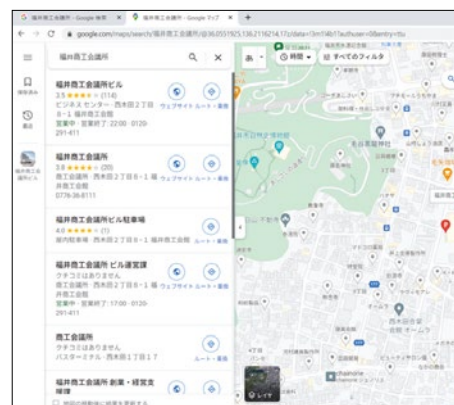
これまではインターネット上に自社ホームページを制作し、それをお客様に見つけてもらって新規顧客獲得へと繋げる、「待ち」の広報がメインでした。しかし、どんどん自社サイトを保有する企業が多くなり、検索上位に組み込むにはSEO対策に関する知識やテクニックが必要です。せっかくサイト内容を充実させていても、顧客の目に触れることが

なければ販路開拓に結び付けられません。

投稿に対するコメントや「いいね」といった反応を気軽にやり取りできるSNSが普及していますが、口コミによる広がりも自社の広報手段の一つとして無視できないものです。GBPにも第三者によるレビュー機能が搭載されています(しかもそれは消すことができません!)。GBPはGoogle検索時に表示され、まさにネット上の看板と言えますが、実は「いかに情報を更新しているか」が検索上位に表示されるための評価点となっているのです。そして、口コミに対する返信も更新していると思なされるため、高評価をしてくれたユーザーへの御礼だけでなく、低評価をしたユーザーにも返信した方が良いでしょう。



GBPはブラウザで上記のように表示されます。



GBPはGoogleマップにも表示されます。

じっくり来店を促すSNSと「すぐに」応えるGBP

InstagramをはじめとしたSNSも更新頻度が大切ですが、情報のコンテンツが綺麗に整っているか、いわゆる映える写真等によってユーザーの関心を引くことができるかがより重要です。SNSユーザーは、今後行きたいスポットや食べたいものを探すのにじっくりと時間をかけています。

一方で、Google検索をするユーザーはすぐにでも情報が欲しくて、且つすぐに利用できること(場所)を探しています。例えば、「近場でゆっくりくつろぐことができるカフェはないか」「今すぐスマート



セミナーでは、その場でGBPの登録を進めながら講師の雲丹亀さんや他の参加者と交流し、今後の運用方法等についてアイデアを出し合いました。

フォンのイヤホンが欲しい」といったニーズを抱えています。そんなすぐに満たしたい要求を持った顧客を呼び込むのにGBPはうってつけなのです。

なお、GBPは店舗などの所在地や連絡先を登録できるほか、写真・動画を掲載したり、口コミを介したユーザとの交流ができる便利な無料ツールですが、注意すべきこともあります。自社や店舗を自分で登録していないのに、なぜか検索時にヒットしたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。それは第三者でも登録することができるためです。それに気付かず新たに登録を進めてしまうと、情報が重複して検索時にうまく表示されなくなる可能性も出てきます。すでに登録されていた場

合はオーナー登録する必要がありませんので、ご留意ください。

### 新幹線開業を見据えた 集客ツールとして活用を

GBPの特徴や機能の一部についてご紹介しましたが、他店との差別化を図るには投稿数、掲載する写真、そして口コミの3つがポイントとなります。先述の通り、投稿頻度が高く、口コミへの反応も多い方が検索上位となる可能性も高まりますが、そこに載せる写真も大切です。Googleからユーザが知りたいのは商品や内装、外観以外にも、「近くに駐車場が何台分あるのか」「車椅子でも入れるのか」「子ども連れでも気兼ねなく入れるか」といったディテールです。かゆいところに手が届くような情報を、どれだけユーザに届けられるかが集客に直結していくと思います。

GBPは無料で利用できるツールながら、幅広い機能が備わっており、そこからHPPやSNSへの誘導も可能です。新幹線開業を控える福井県の企業の皆様には、ぜひとも活用していただきたいです。



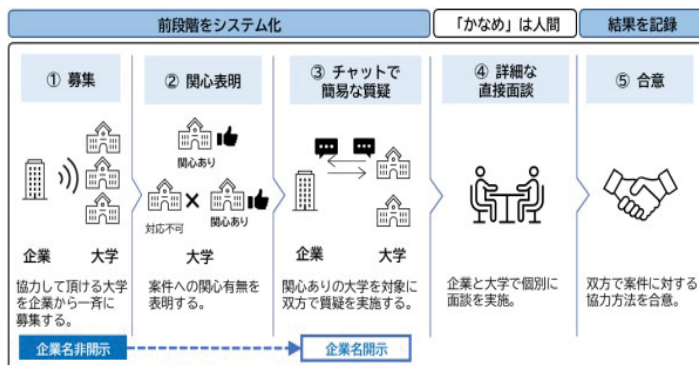
### 番外編

自社課題解決に向けて  
北陸圏内大学とマッチング

福井商工会議所では、会員事業所の皆様と北陸圏内の大学との橋渡しを行う産学連携クロスオーバーシステム「Ocket（オケット）」を導入しました。

オケットは、令和5年7月時点で北陸3県の7つの商工会議所、8つの教育・研究機関に在籍する2000名以上の教員で構成されるデジタル・コミュニティです。利用者はWeb上で自社の課題を、秘密保持を前提に大学などに相談できます。例えば「新商品開発にあたり、地域の人口動向や社会習慣も加味して進めるため、社会学に精通した先生に相談したい」「ジヨブローテーションを組みたいが、社員の抵抗がある。組織論などを専門とする教員を講師に招き研修会を開きたい」といった案件を、匿名の状態から複数の大学などに通知を送ることが可能です。他にも、技術的な相談や学生とのコラボ事業など、気軽に大学側へ投げかけることができます。

産学連携へのきっかけづくりや、第三者、専門家の力を借りた自社課題の解決に向けて、ぜひオケットをご活用ください。



企業名を明かさず企業課題を提示することができ、反応があった大学とチャットによる簡単なやりとりの後、打合せを行います。

本件に関するお問合せ先

福井商工会議所  
産業技術・DX推進課  
☎0776-33-8252

「Ocket」の詳細・登録は  
コチラ →

